



第25回 北海道医療大学・札幌医科大学による
メディカルカフェ

アゴのチカラ～現代人の抱える病気～

ゲスト：中山英二さん（北海道医療大学 歯学部）

日時：10月9日(日)午後2時00分～4時00分

場所：紀伊國屋書店札幌本店1階 インナーガーデン

（札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル）

定員：約100名（座席は70名程度です）

参加費：無料（申し込み不要。当日は直接会場にお越し下さい）

主催：北海道医療大学（担当） 札幌医科大学

イラスト 石堂愛夏・田上侑梨（北海道医療大学）





人は、食事をするときや話をするときなどに口を開け閉めします。普通であればそのことをあまり意識しません。ところが、あごの関節（これを顎関節 = ガクカンゼツといいます）が不調で口を開け閉めしにくかったり、開け閉めする筋肉が不調であごを動かしにくかったり、痛かったりすると、食事や話をするのが不自由になります。今回はそんなあごの関節の病気について話をします。はじめにあごの関節の骨と筋肉の簡単な解剖を学びます。そして普通の状態であごを開け閉めするときのあごの動きを学びます。そのあと代表的なあごの関節の病気とその治療法を簡単に紹介します。最後に最近あごの関節の病気が増えている理由のひとつに、現代人が抱えるあごの骨の退化が言われており、その背景を考えてみます。それにより、あごの関節の健康を保つヒントを得たいと思います。

----- ゲストのプロフィール -----

中山英二（なかやま えいじ）さん

北海道医療大学歯学部 生体機能・病態学系 歯科放射線学分野 教授

1984年3月 九州大学歯学部歯学科卒業

2007年7月 北海道医療大学歯学部教授 現在に至る

歯学博士（九州大学）、日本歯科放射線学会指導医理事、日本顎関節学会指導医評議員、日本口腔科学会評議員、日本画像医学会評議員ほか

大分県生まれの52歳、さそり座。高校生2女の父。煙草も吸わず無趣味な人間ですが、お酒と美術だけは好きです（最近弱くなりました）。



「メディカル・カフェ」は、医療・医学・健康情報などに関して、飲み物を片手に語り、理解を深める市民参加型のイベントです。また、札幌医科大学・北海道医療大学の学生達が、医療の第一歩である「コミュニケーション」を学ぶ「場」でもあります。

本イベントは、文部科学省による現代的教育ニーズ取組支援プログラムに採択された「双方向型医療コミュニケーション教育の展開」の一環として定期的で開催されます。この取組は、北海道医療大学と札幌医科大学の共同事業であり、両大学の連携によるイベントの一つとして定期的で開催する予定です。

主催 札幌医科大学 〒060-8556 札幌市中央区南1条17丁目 Tel 011-611-2111(内線 2222)
http://web.sapmed.ac.jp/med_cafe/

北海道医療大学 〒061-0293 石狩郡当別町金沢1757番地 Tel 0133-23-1211(内線 2142)
<http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~gakumu/gp/medicalcafe/index.html>